

2027 トキ放鳥プロジェクト

vol.1

出雲市は、令和9年(2027)初夏、本州2例目となるトキの放鳥を稗原地区で行います。

放鳥まで1年をきり、あらためてトキの放鳥・野生復帰について、取り組む意義や活動内容をシリーズでお知らせします。



なぜ、出雲市はトキの野生復帰に取り組むの？

全ての生物は、互いに補いあい影響しあって生きており、ある種や生態系が失われると他の生物にも影響がおよび、全体のバランスが崩れてしまいます。

私たちの生活は、多くの部分が自然によって支えられており、人と自然が共生する社会を構築するためには、生物多様性の維持や地球環境の保全を積極的に推進していく必要があります。

かつて、トキは日本各地に生息していましたが、人間活動の影響により、一度絶滅してしまいました。

出雲市は、「トキが生息できる環境は、人も暮らしやすい環境になる」と考え、トキを環境にやさしいまちづくりのシンボルに位置づけています。

合言葉は、「トキも人も育つまちへ」。出雲市は、トキを通じて環境保全意識の向上につなげ、持続可能な地域社会の実現をめざしています。



出雲市トキのマスコットキャラクター
「ミコトッキー」

おたずね／政策企画課 プロジェクト推進室 TEL 21-6079

出雲市トキ生息環境整備事業費補助金

トキのエサとなる生き物を増やす取組を支援します

令和9年(2027)初夏、出雲市でトキを放鳥します。放鳥したトキを出雲市内に定着させるためには、エサとなる生き物を増やすことが最も大切です。ビオトープや土水路の設置など、トキのエサとなる生き物の増加に向けた環境整備の取組に必要な費用を補助します。

1. トキのエサ

トキのエサは田んぼや湿地にすむ生き物です。ドジョウやカエル、オタマジャクシのほか、バッタなどの昆虫、タニシやミミズなども食べます。稲や野菜は食べません。



2. トキがエサを採る場所

トキがエサを採る場所は、主に田んぼで、季節や田んぼの状況によりエサを採る場所を変えます。

稲が生長する夏は、周辺のあぜや草地、ビオトープでエサを採ることが増え、エサが少なくなる冬には、ビオトープや田んぼ内の土水路でエサを採ることが増えます。



写真提供：環境省

3. 補助の対象となる経費

トキのエサとなる生き物の増加につながる経費。代表的なものを例示しています。詳しくは農業振興課にお問い合わせください。

①ビオトープの整備費

休耕田等を、年間を通じて水が張ってある状態で、草があまり生えないよう管理し、エサとなる生き物が生息・生育する空間として整備するもの。

②土水路の設置費

田んぼの脇に土水路を設置し、田んぼに水がない時期のドジョウなどの避難場所として整備するもの。



①ビオトープ



②土水路

4. 補助金の額、補助の対象になる方

①補助金額：上限20万円(補助率：10分の10以内)

②補助対象者：水田管理者(耕作者、所有者)

5. 申請受付期限 10月30日(金)まで

おたずね／農業振興課 TEL 21-6582

7